

平成31年2月15日

平成31年度 社会福祉法人 馴鹿

施設重点目標

1 共通目標

① 法令を順守します。

イ 障害者総合支援法に従って施設運営を行います。

② 利用者が楽しく通える福祉サービス施設を目指します。

イ 健康管理の強化を図る。

利用者の健康診断を年2回行い、個々の結果に沿った細かい対応を実施する。
利用者の健康管理強化の為、看護師による施設巡回を実施します。

ロ 所内でのレクレーションを取り入れる。

休日開所等を利用して利用者が馴鹿に来て楽しいと思えるようなレクレーションを考え取り入れます。

アイセल्प、トナカイ福祉交流館あい、各施設間の交流が深まるような企画を取り入れます。

ハ 明るく活気ある職場作りに努めます。

利用者、職員、共に認め合い、常に共笑に努め、笑顔が絶えない職場を目指します。また、利用者、職員、個々に楽しい目標を掲げ、その目標に向かって日々の活動を行い活気ある職場にします。

ニ 職員の資質向上に努めます。

資格取得に積極的に取り組み、知識、技能共に向上出来るように努めます。

ホ 施設内の自主点検の実施に努めます。

監事及び第三者委員による施設内自主点検を実施します。

③ 利用者支援の充実に努めます。

イ 的確な支援計画の作成

関係機関と連携を図り、相談員によるサービス等利用計画及び、個別支援計画の作成を保護者、利用者、支援員の協同作業として取り組みます。

- ロ 利用者の状況を保護者、支援員で共有する。
保護者と一緒に作成した個別支援計画に基づき、保護者と支援員が支援の方向性を一つにし、確認しながら支援を行います。
- ハ 利用者の日々の状況を必ずケア会議で確認します。
送迎終了後、各々の担当利用者について当日の利用者の状況を報告、相談、検討を重ね、共通共有情報として把握し、全ての利用者を支援員全員が支援出来るようにします。

④ 利用者の体力低下についての対応に努めます。

- イ 各施設的环境に即した場所での体操の実施、又愛媛県スポーツ大会の積極的参加等、利用者個々の状況に合った体力の保持、健康管理を行います。

⑤ 地域社会の皆さんと積極的にふれ合い、地域社会への認知に努める。

- イ 観桜会、各種バザー、イベント、資源の回収、及び清掃等の諸活動に参加し、地域の方々と直接ふれ合い、馴鹿の認知と社会貢献に努めます。

⑥ 利用者、職員共に、感謝の気持ちの醸成に努めます。

- イ 恒例の行事として「馴鹿ふれあい感謝祭」を12月に開催します。

- ロ 馴鹿施設創設者の命日、6月23日を「感謝の日」と定め、職員利用者で行事を行います。

⑦ 新卒者、中途の通所者については、体験通所をお願いし、担当者会議（利用者、保護者、相談員等、施設職員）を行い、利用者、施設双方が納得したうえで入所決定する。

2 施設別目標

アイセルプ

① アイセルプ班

- イ お互いがお互いを認め合い、素直に「ありがとう」と笑顔で言える仲間づくりに努めます。
- ロ 利用者、職員、個々に楽しい目標を掲げ、その目標に向かって日々の活動を行い活気ある職場づくりに努めます。
- ハ 休日開所や行事を通して社会性を身につけ、社会人としての自覚が持てるよう支援を行います。

② ばっぼ班

- イ 個々の身体機能状態に合わせて日々の健康管理、支援を行います。
- ロ 環境要因に配慮し、状況に合わせて細目な対応に努めます。
- ハ 日中活動や休日開所で、楽しみや社会経験の場を増やし、社会性を高めます。

トナカイ福祉交流館あい

① 軽食班

- イ 利用者の労働意欲の向上を図り、達成感を得る事での楽しい職場環境を目指します。
- ロ 接客・朝礼等を通して自らの意思を他者に伝えるコミュニケーション能力を向上させる為の支援を行います。
- ハ 消費増税等による仕入れ価格の上昇が見込まれるため、メニュー価格を検討します。

② パソコン班

- イ 商品の見直しと整理を行い生産性の高い商品作りを目指します。
- ロ 労働意欲向上のため内職等を行い、工賃の向上を図ります。
- ハ 日々の健康管理を強化します。

③ 茶房あい

- イ 当番制により役割分担を明確化にし、責任感と達成感の向上を図ります。
- ロ 消費増税等による仕入れ価格の上昇が見込まれるため、メニュー価格を検討します。
- ハ 出席日数の少ない利用者の管理を十分に行い、出席率を高めます。

④ パン工房あい

- イ 受注と生産スケジュールを考慮しつつ、収益の向上を目指します。
- ロ 消費増税等による仕入れ価格の上昇が見込まれるため、製品価格を検討します。
- ハ 利用者の健康管理については、今まで以上に注意し、強化を図ります。